

さいたま いたがき  
「埼玉の板垣」

# おかむら しんざぶろう 岡村 新三郎

う とし  
生まれた年

こうか ねん ねん  
弘化4年 (1847年)

な とし  
亡くなった年

たいしょう ねん ねん  
大正10年 (1921年)

う  
生まれたところ

ひのうえむら  
樋上村



- 明治時代から大正時代の政治家です。

さいたまけんぎかいぎいん しゅうぎいんぎいん  
埼玉県議会議員や衆議院議員になりました。

- 自由民権運動で知られる「板垣退助」を尊敬していて、

さいたま いたがき かつやく  
「埼玉の板垣」とよばれ、活躍しました。

ようごしゅう いたがきたいすけ  
⇒用語集 ①板垣退助

にほん ちすいおう  
「日本の治水王」

# ゆもと よしのり 湯本 義憲

う とし  
生まれた年

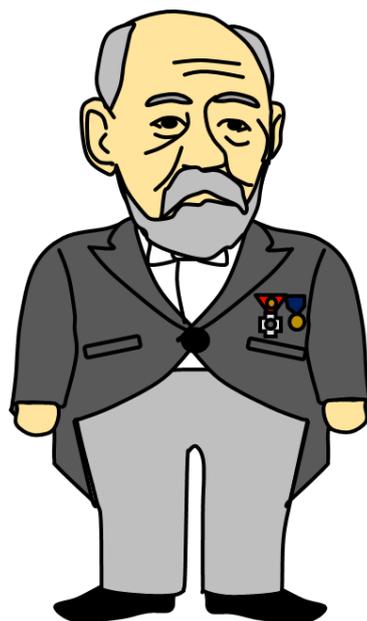
か えい ねん ねん  
嘉永2年 (1849年)

な とし  
亡くなった年

たいしょう ねん ねん  
大正7年 (1918年)

う  
生まれたところ

こ ばりむら  
小針村



- めいじじだい たいしょうじだい せいじか  
明治時代から大正時代の政治家です。  
さいたまけんぎかいぎいん しゅうぎいんぎいん  
埼玉県議会議員や衆議院議員になりました。
- かわ かんり かせんほう ほうりつ  
川を管理するための「河川法」という法律の  
もとになるきまりを ととの整えました。
- ぎょうだ きょういく さんぎょう ちから  
行田の教育や産業のために力をつくしました。

ぎょうだ しぶさわ  
「行田の渋沢」

# いまづ とくのすけ 今津 徳之助

う とし  
生まれた年

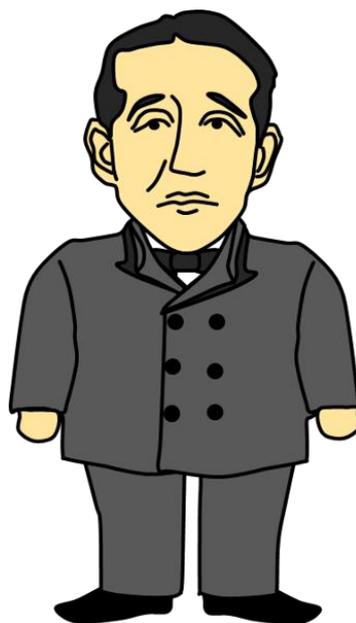
あんせいがんねん ねん  
安政元年（1854年）

な とし  
亡くなった年

たいしょう ねん ねん  
大正8年（1919年）

う  
生まれたところ

ぎょうだまち  
行田町



- 明治時代から大正時代の実業家です。

さいたまけんぎかいぎいん しゅうぎいんぎいん  
埼玉県議会議員や衆議院議員になりました。

- 鉄道や電話、電気会社など、行田のまちづくりに必要な事業を進め、  
「行田の渋沢栄一」とよばれました。

ようごしゅう じつぎょうか しぶさわえいいち  
⇒用語集 ②実業家 ③渋沢栄一

かんさい しぶさわ  
「関西の渋沢」

# こやま けんぞう 小山 健三

う とし  
生まれた年

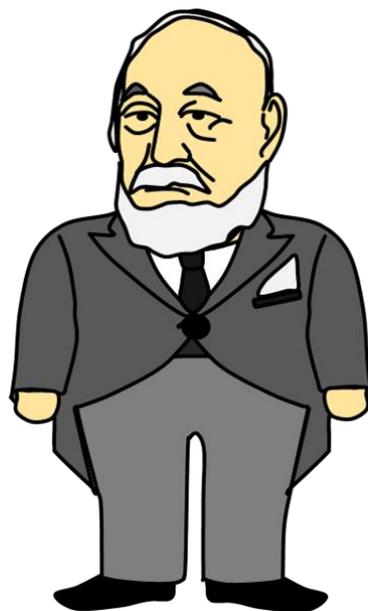
あんせい ねん ねん  
安政5年（1858年）

な とし  
亡くなった年

たいしょう ねん ねん  
大正12年（1923年）

う  
生まれたところ

おしはん ぶ し いえ  
忍藩の武士の家



- めいじじだい たいしょうじだい ぎんこうか  
明治時代から大正時代の銀行家です。
- さい とうきょう で きょういくかんけい やくしょ かつやく  
15歳で東京に出て、教育関係の役所で活躍しました。
- かんさい おお ぎんこう だいひょう はたら くに じぎょう  
関西では大きな銀行の代表として働き、国のさまざまな事業にも  
きょうりやく かんさい しぶさわえいち  
協力したので「関西の渋沢栄一」とよばれました。

きんだい しゃしんし  
「近代の写真師」

# おがわ かずまさ 小川 一真

う とし  
生まれた年

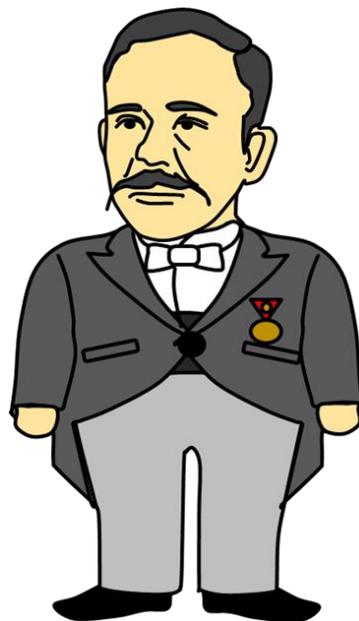
まんえんがんねん ねん  
万延元年（1860年）

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和4年（1929年）

う  
生まれたところ

おしはん ぶ し いえ  
忍藩の武士の家



めいじじだい たいしょうじだい しゃしんし  
● 明治時代から大正時代の写真師です。

しゃしん ぎじゆつ まな  
● アメリカで写真の技術を学び、  
めいじじだい にほん だいひょう しゃしんし  
明治時代の日本を代表する写真師になりました。

にほん ふうけい ひと さつえい しゃしんしゅう  
● 日本の風景や人びとのくらしを撮影し、写真集としてひろめました。

ようごしゅう なつめ そうせき  
⇒用語集 ④夏目漱石

ぎょうだ ぎんこうか  
「行田の銀行家」

# まつおか さんごろう 松岡 三五郎

う とし  
生まれた年

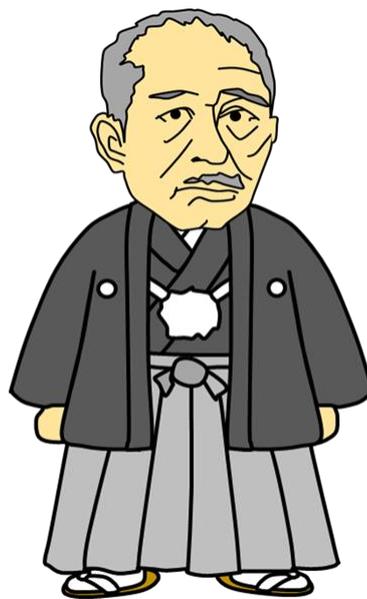
けいおう ねん ねん  
慶応3年 (1867年)

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和5年 (1930年)

う  
生まれたところ

さいじょうむら  
齋条村



- しょうゆ づく もしていた じぬし いえ う 地主の家に生まれました。
- おししょうぎょうぎんこう さいしよ とうどり だいひょうしゃ 忍商業銀行の最初の頭取(代表者)になり、  
ぎょうだ けいざい ささ 行田の経済を支えました。

りっぱ ほうりつか  
「立派な法律家」

# はやし らいざぶろう 林 頼三郎



う とし  
生まれた年

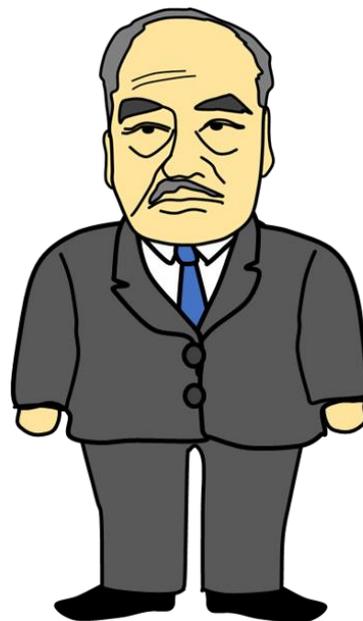
めいじ ねん ねん  
明治11年 (1878年)

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和33年 (1958年)

う  
生まれたところ

なりたまち  
成田町



- わか くるう ほうりつ かか しごと  
若いころに苦労しましたが、法律に関わる仕事につき、  
けんじそうちょう だいしんいんちょう げんざい さいこうさいばんしょ ちょうかん  
検事総長や大審院長(現在の最高裁判所の長官)、  
しほうだいじん ほうりつ たんとう だいじん  
司法大臣(法律を担当する大臣)にまでなりました。
- ちゅうおうだいがく ほうりつ おし そうちょう こうちょう ちから  
中央大学でも法律を教え、総長(校長)として力をつくしました。

おし とのさま  
「忍のお殿様」

まつだいら ただひさ  
松平 忠寿



う とし  
生まれた年

めいじ ねん ねん  
明治15年 (1882年)

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和57年 (1982年)

う  
生まれたところ

とうきょうし  
東京市



- おしはん さいご はんしゅ まつだいらけ う  
忍藩の最後の藩主、松平家に生まれ  
かいぐん ぐんじん かつやく  
海軍の軍人として活躍しました。

- おしはん ぶ し かい おしごうゆうかい かいちょう  
もと忍藩の武士たちの会「忍郷友会」の会長として  
ぎょうだし はってん ちから い  
行田市の発展に力を入れました。

ぎょうだ はってん じつぎょうか  
「行田の発展につくした実業家」

# おおさわ りゅうじ ろう 大澤 龍次郎



う とし  
生まれた年

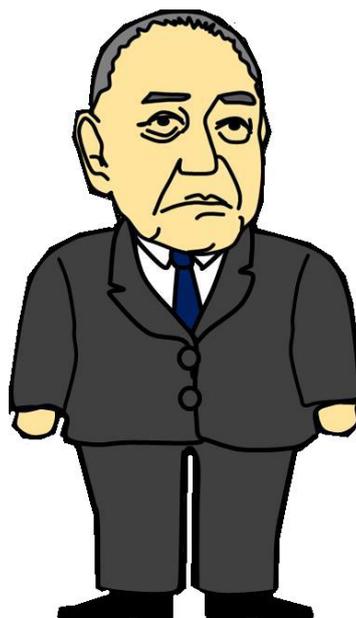
めいじ ねん ねん  
明治20年 (1887年)

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和49年 (1974年)

う  
生まれたところ

ぎょうだまち  
行田町



- 呉服屋の大番頭(使用人のリーダー)の家に生まれ、のちに東京で会社をつくり、社長になりました。
- 行田の学校や教育事業に、熱心に寄附をしました。
- 「行田音頭」を作るためのお金も出しています。

ようごしゅう ぎょうだおんど  
⇒用語集 ⑤行田音頭

ぎょうだ かね ささ きんゆうか  
「行田のお金を支えた金融家」

むらかみ よしのすけ  
村上 義之助



う とし  
生まれた年

めいじ ねん ねん  
明治21年 (1888年)

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和55年 (1980年)

う  
生まれたところ

なりたまち  
成田町



ぎょうだ たびや ささ おしまちしんようくみあい  
● 行田の足袋屋さんを支えた忍町信用組合の  
せいりつ ちから  
成立に力をつくしました。

だいにじせかいたいせんご けいざい こんらん なか  
● 第二次世界大戦後、経済が混乱している中で  
さいたまけんしんようきんこ せいりつ ちから さいしょ くみあいちょう  
埼玉県信用金庫の成立に力をつくし、最初の組合長になりました。

おしまちちょうぎかいぎいん さいたまけんぎかいぎいん つと  
● 忍町町議会議員、埼玉県議会議員なども務めました。

ようごしゆう しんようくみあい  
⇒用語集 ⑥信用組合

ぎょうだ はってん じつぎょうか  
「行田の発展につくした実業家」

# ながぬま くらじろう 永沼 倉次郎



う とし  
生まれた年

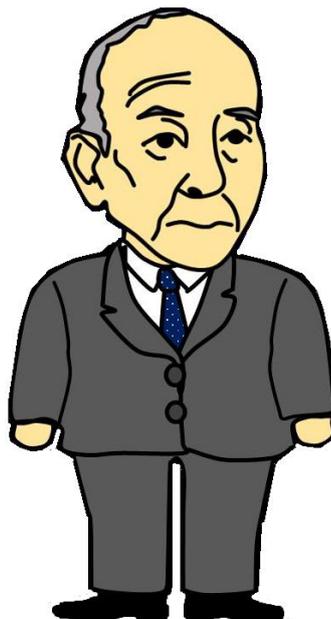
めいじ ねん ねん  
明治28年 (1895年)

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和63年 (1988年)

う  
生まれたところ

すかむら  
須加村



- しょうがっこう で いえ ひりょう こめ う しごと てつだ はじ  
小学校を出てすぐに、家で肥料や米を売る仕事を手伝い始めました。
- あか とりょう でんし き き つか  
ベンガラ(赤い塗料で、電子機器などをみがくのにも使われる)を  
つく かいしゃ た あ せいこう  
作る会社を立ち上げ、成功しました。
- ぎょうだし ろうじん ふくししせつ たいじゅそう こうきょうしせつ つく  
行田市の老人福祉施設「大寿荘」などの公共施設を作るために  
た く さ ん の き ふ  
たくさんの寄附をしました。

しよだい ぎょうだしちよう  
「初代 行田市長」

おくぬき けんいち  
奥貫 賢一



う とし  
生まれた年

めいじ ねん ねん  
明治39年 (1906年)

な とし  
亡くなった年

へいせい ねん ねん  
平成14年 (2002年)

う  
生まれたところ

おしまち  
忍町



- がいこうかん ちょうせんはんとう はたら  
外交官として朝鮮半島などで働きました。
- だいにじせかいたいせんご おしまち もど ちょうちょう  
第二次世界大戦後、忍町に戻って町長になり  
おしまち ぎょうだし はじ ぎょうだしちよう  
忍町が行田市になると、初めての行田市長になりました。
- がっぺい すす ぎょうだし ちから  
合併を進め、行田市のかたちづくり、まちづくりに力をつくしました。

ねんかんつと ぎょうだしちよう  
「32年間務めた行田市長」

なかがわ なおき  
中川 直木



う とし  
生まれた年

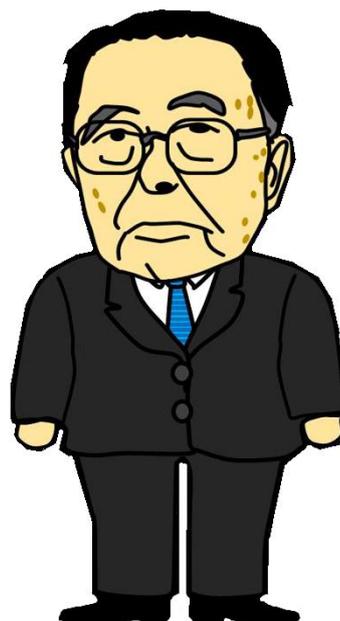
たいしやう ねん ねん  
大正2年 (1913年)

な とし  
亡くなった年

へいせい ねん ねん  
平成12年 (2000年)

う  
生まれたところ

おしまち  
忍町



- ぎょうだしやくしよ つと しちよう  
行田市役所に勤めたのち、市長になりました。
- かいとうせん ねんかんしちよう つと  
8回当選し、32年間市長を務めました。
- たび げんだいてき こうぎやうだんち つく  
「足袋のまち」から現代的なまちへ、工業団地を造るなど  
あたらし とく  
新しいまちづくりに取り組みました。

ぎょうだ はってん じつぎょうか  
「行田の発展につくした実業家」

ながぬま うんぞう  
永沼 運蔵



う とし  
生まれた年

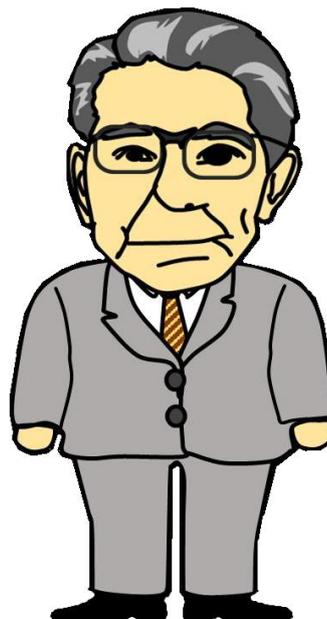
たいしょう ねん ねん  
大正10年 (1921年)

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和56年 (1981年)

う  
生まれたところ

すかむら  
須加村



- ちち くらじろう あと つ しゃちょう  
父・倉次郎の後を継いで社長となり、  
すかむら そんぎかいぎいん つと  
須加村の村議会議員なども務めました。
- ぎょうだし がっぺい すす ぎょうだし ぎかいぎいん つと  
行田市との合併を進め、行田市議会議員を務めました。
- あたら き ふ  
新しいまちづくりのために、たくさんの寄附をしました。

でんえん はいじん  
「田園の俳人」

# かわしま き ほうく 川島 奇北

う とし  
生まれた年

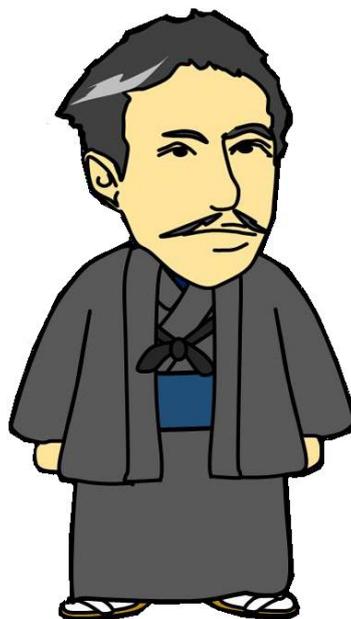
けいおう ねん ねん  
慶応2年（1866年）

な とし  
亡くなった年

しょうわ ねん ねん  
昭和22年（1947年）

う  
生まれたところ

すかむら  
須加村



- すかむら おお のうか う ほんみょう とくたろう  
須加村の大きな農家に生まれ、本名は得太郎といひます。
- まさおか しき でし はいく まな  
正岡子規の弟子になり、俳句を学びました。
- しゃせい たいせつ しき は ちゅうしん かつやく  
写生を大切にする子規の「ホトギス」派の中心として活躍し、  
さいたまけんない だ おお はいくざっし かか  
埼玉県内に出された多くの俳句雑誌に関わりました。

ようごしゅう まさおか しき  
⇒用語集 ⑦正岡子規

# ようごしゅう 用語集

## ① 板垣退助

いたがきたいすけ  
こっかい つく せいじ さんか じゆうみんけんうんどう すす いのち  
国会を作り、みんなで政治に参加する「自由民権運動」を進めた。命を  
ねら かつどう つづ いたがきし じゆう し ことば ゆうめい  
狙われても活動を続け、「板垣死すとも自由は死せず」の言葉が有名。

## ② 実業家

じつぎょうか  
しょうばい さまざま かいしゃ けいえい ひと きょういく  
ものづくりや商売など、様々な会社を経営する人のこと。まちづくりや教育  
さんか ちいき ゆた  
にも参加して、地域を豊かにしていった。

## ③ 渋沢栄一

しぶさわえいいち  
きんだいにほんけいざい ちち じつぎょうか くに さまざま かいしゃ じぎょう  
「近代日本経済の父」ともよばれる実業家。国や様々な会社の事業に  
きょうりよく きょういく ふくし しゃかい しごと ちから い  
協力し、教育や福祉など社会のための仕事にも力を入れた。

## ④ 夏目漱石

なつめそうせき  
めいじじだい たいしょうじだい しょうせつか しょうわ ねん ねん へいせい ねん  
明治時代から大正時代の小説家。昭和59年(1984年)から平成19年  
ねん はっこう せんえんさつ おがわかずまさ と  
(2007年)まで発行されていた千円札には、小川一眞が撮った  
なつめそうせき しゃしん つか  
夏目漱石の写真が使われていた。

## ⑤ 行田音頭

ぎょうだおんど  
しょうわ ねん ねん つく うた さいじょうや そさくし なかやましんぺいさつきよく  
昭和9年(1934年)に作られた歌。西條八十作詞、中山晋平作曲。

⑥ しんようくみあい 信用組合

ちいき ささ きんゆうきかん ぎょうだ たびや こうじょう  
地域を支える金融機関。行田では足袋屋さんが工場をつくったりするた  
かね か しんようくみあい ひつよう  
めに、お金を貸してくれる信用組合が必要だった。

⑦ まさおかし き 正岡子規

めいじじだい だいひょう ぶんがくしゃ し き とり  
明治時代を代表する文学者。「子規」とは鳥の「ホトギス」のこと。

マークの せつめい 説明



このマークがついている人は ぎょうだしめいよしみん 「行田市名誉市民」です。

ぎょうだしめいよしみん 「行田市名誉市民」とは、ぎょうだし 行田市にゆかりがある人で、ひと 社会や文化のために  
ちから 力をつくし、しみん 市民がふるさとの ほこ 誇りとして そんけい 尊敬できる人に ひと おく 贈られる、めいよ 名誉ある  
しょうごう 称号です。